

学会ニュースNo.93 トピックス

- ・ 2008年度(第63回)総会・研究発表大会プログラム
- ・ 秋季例会(小諸), 講演会ならびに臨地研究会開催のお知らせ(第1報)
- ・ お知らせ

会 告

○2008年度(第63回)総会・研究発表プログラム

日 時:2008年6月7日(土)9:30より

会 場:立正大学熊谷校舎6号館(6101・6102教室)

《口頭発表1》 9:30~11:10 *は発表者

発表時間:口頭発表は20分(質疑応答を含む)

9:30~9:50 深瀬浩三(東京学芸大・院):埼玉県児玉地域におけるナス生産の存立形態—旧児玉町を事例として—

9:50~10:10 小川 護(沖縄国際大):鹿児島県和泊町におけるスプレーギク生産地域の特性

10:10~10:30 原 啓介(立正大・非)*・須藤方之(エムズダイニング)・原美登里(立正大):近江八幡市のまちづくりと住民対応

10:30~10:50 初沢敏夫(福島大):新学習指導要領に基づく日本地理学習の構成に関する一考察

10:50~11:10 多田統一(東京都立荒川商業高校定時制):地理教育の社会へのPRを考える—「文芸広場」インタビューを通して—

《ポスター発表紹介》 11:10~11:40(各発表者約1分)

※掲示時間は9:20~16:00です。コアタイムは13:20~14:00とします。

P1 荒川知樹(朝日航洋)・岡崎隆弘(立正大・学)・原美登里(立正大):立正大学熊谷キャンパス内における樹冠の季節変化と気温との関係

P2 小川滋之(千葉大・院):外秩父山地高篠におけるヤエガワカンバの分布

P3 梶浦 岳(立正大・研):山地放牧地における請負放牧ネットワークと家畜飼育の地域的特性—クルグズ共和国北部アトバシ地区の一農村を事例として—

P4 片柳 勉(立正大):都市の記憶の保存と再構成—足尾・行田を事例として—

P5 河野 忠(立正大):大分県の水環境と水文化—阿蘇溶結凝灰岩の恵み—

P6 小長谷洋之(中央大・非)*・正井泰夫(立正大・名誉教授)・岩動志乃夫(東北学院大)・助重雄久(富山国際大)・戸田真夏(青山学院大・非)・谷口智雅(立正大・非):ミシガン湖周辺の地理景観

P7 高橋公史(立正大・院):高校教科書地理Bにおける差異

P8 谷口智雅(立正大・非)*・戸田真夏(青山学院大・非):ミシガン湖周辺の水環境—水辺景観と水利用を中心として—

P9 野住溪太朗(立正大・院):神奈川県鎌倉市の観光客の動態

- P10 深田康仁(大輝測量(株)):地図表現を考慮したバリアフリーマップ制作 —川越市蔵造りの街並みを事例として—
- P11 保戸塚 諒(城北埼玉中高・非):所沢市における中心商店街再開発と関係者の対応
- P12 町田尚久(立正大・院):外秩父山地における御荷鉾緑色岩類の地すべり地形と地質構造
- P13 松尾忠直(立正大・研):熊谷三尻飛行場周辺部の土地利用変化 —米軍撮影空中写真を中心に—
- P14 山下大輔(立正大・院):東京都江戸川区における人工河川が地域に与える影響 —新中川を事例として—

《総会》 11:40~12:30 研究発表大会会場で行います。
昼休み 12:30~13:20

《ポスター発表のコアタイム》 13:20~14:00

《口頭発表 2 》 14:00~17:10

- 14:00~14:20 須江彬人(立正大・院):トカラ列島中之島御岳階状土の特徴とその形成プロセス
- 14:20~14:40 中村洋介(立正大):深谷断層の活動性評価について
- 14:40~15:00 島津 弘(立正大):イタリア, オルチア川上流の河川景観と地形プロセス
- 15:00~15:20 松尾 宏:砂防堰堤と風景 —歴史的建造物(登録有形文化財)の活用
10分 休憩
- 15:30~15:50 戸田真夏(青山学院大・非)*・谷口智雅(立正大・非):ミシガン湖における氷河地形探し
- 15:50~16:10 小長谷洋之(中央大・非):ミシガン湖周辺地域の鉄道交通 —シカゴの都市鉄道とミシガン州の長距離鉄道を比較して—
- 16:10~16:30 岩動志乃夫(東北学院大):ミシガン湖周辺における諸都市の景観 —地理教材への利用も含めて—
- 16:30~16:50 助重雄久(富山国際大):景観写真と Google Earth をリンクさせた地理教材の作成と利用 —ミシガン湖周辺を事例として—
- 16:50~17:10 正井泰夫(立正大学名誉教授):ミシガンの大学都市, イースト・ランシングの半世紀の変化

《地理写真展示》 ※掲示時間は 10:00~16:00 です。

- GP1 大塚昌利(立正大):ラオス点描
- GP2 島津 弘(立正大):これがクラス(カルスト)だ!
- GP3 多田統一(東京都立荒川商業高校定時制):「文芸広場」研究所めぐり(2007年度)
- GP4 谷口智雅(立正大・非):メトロマニラの新旧・陰陽
- GP5 戸田真夏(青山学院大・非):The first time of FIRST
- GP6 松尾 宏:吉野川の洪水と闘った人々の暮らし
- GP7 松尾 宏:宇治川の太閤堤
- GP8 渡邊史明・好田誠弥・泉鍛冶聡(立正大・学):写真で表現する村上市の地域構造

《懇親会》 17:30~19:00 学生食堂(ステラ)で行います。

○秋季例会(長野)・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第1報)

第32回立正地理学会秋季例会(長野)ならびに第104回臨地研究会を10月中旬もしくは11月上旬に長野県小諸市中心部にて実施する予定です。日時・場所および発表と参加に関する案内は、6月上旬頃、立正地理学会ホームページ(<http://www.ris.ac.jp/geosoc/>)にてお知らせします。会員の多数のご参加を期待します。

○2006年度立正地理教養セミナーのお知らせ

「熊谷近郊再発見 ー身近な風景を見直せばー」

普段なにげなく見ている風景でも、違った視点から見直すと新しい発見があります。熊谷近郊の身近な風景を題材として、それぞれの専門分野から解説します。

日時:①②どちらかでも可 定員:30名(申込順)

①2008年5月31日(土)「行田の風景を訪ねて一古墳・城・蔵」

10:00~10:50 行田を生んだ歴史的風土 大塚昌利(立正大学)

11:00~11:50 行田を形づくる自然誌 瀬戸真之(立正大学)

13:00~16:00 行田の記憶をたどる街歩き 片柳 勉(立正大学)

②2008年6月1日(日)「熊谷扇状地 1000 万年の環境変化

ー自然地理学の目で地形の形成と地形災害の履歴を探るー」

10:00~11:30 講演 島津 弘(立正大学)

13:00~16:00 バス巡検 島津 弘(立正大学)

対象:熊谷在住もしくは通勤・通学している方

主催:立正大学地球環境科学部地理学科

後援:立正地理学会・熊谷市教育委員会

申込・問合せ:熊谷中央公民館(Tel:048-523-0895 Fax:048-523-0896)

申し込み締切:5月20日(火)

○「海外地理教材」研究委員会主催 シンポジウムのご案内

この度、立正地理学会「海外地理教材」研究委員会では、「海外の景観を地理教材として活かすために」をテーマにシンポジウムを開催いたします。当日は正井泰夫先生の基調講演をはじめ、各国・各地の報告からなる一般発表と景観を地理教材として活かすためのヒントや情報交換を目的とした討論も予定しております。

社会科・地理の教員の方々をはじめ、教員をめざす学生や院生の方々、また外国に関心をお持ちの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、基調講演終了後、懇親会を予定しておりますので、先生方や会員の皆様の交流の場としてご参加いただければ幸いです。

日時:7月5日(土)13時00分~17時10分

会場:立正大学大崎校舎 11号館 1151教室(JR大崎駅、五反田駅より徒歩10分)

参加費:無料、事前申込不要

[プログラム]

13時00分～13時10分 開催挨拶

13時10分～14時30分 基調講演

正井泰夫(立正大学名誉教授)

「20世紀後半～21世紀初頭のアメリカ・ミシガン州の変貌」

14時30分～15時00分 休憩、懇談の時間

15時00分～16時30分 一般発表:自然的・人文的景観の特色と活用法

島津弘(立正大学):フィジー, ヴィチレヴ島の自然と人びとの生活

戸田真夏(青山学院大学):山岳と平原の氷河地形ーヒマラヤとウィスコンシン

谷口智雅(立正大学):アジアの都市(ソウル・台北・上海など)の河川景観

助重雄久(富山国際大学)・武者賢一(新潟県立村上中等学校)

:中国雲南省の農村

岩動志乃夫(東北学院大学):アメリカ合衆国と韓国の都市景観

萩原八郎(四国大学):ブラジルの都市計画

16時30分～16時40分 休憩、準備

16時40分～17時10分 討論・まとめ

※ 当日、教材となるような海外写真を展示するスペースを用意します。皆さん、自慢のショットをお持ちください。

※ シンポジウム終了後、懇親会を予定しております。

共催:立正地理学会、日本地理教育学会、お茶の水地理学会

問合せ先:「海外地理教材」研究委員会 代表:小長谷洋之

konahiro@za.cyberhome.ne.jp

○会費納入のお願い

2008年度分の会費は8月前後に送付予定の払込取扱票にてご納入下さい。なお、立正地理学会総会・研究発表大会の当日は、受付にて会費をご納入頂けます。過年度分会費が未納の方は、過年度分もあわせてご納入願います。会費および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000円 学生会員 2,500円

00130-8-13453 立正地理学会

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さいませよう、よろしく願いいたします。最近、払込取扱票の払込人住所氏名の欄が未記入のものが多く見受けられます。とくに、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない払込取扱票の対応に苦慮しております。何とぞ、ご入金の際には氏名欄のご確認をお願いいたします。

(庶務会計委員会)

大会へのみなさまのご参加を心よりお待ちしております。

(広報委員・原 美登里)

立正地理学会ニュース No.93

2008年5月10日発行 編集者 立正地理学会広報委員会

発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内

電話 048-539-1660 振替 00130-8-13453